

社会連携・知財管理センター 人事異動のご挨拶

社会連携・知財管理センター長 吾妻 勝浩

本年5月16日より山梨大学 社会連携・知財管理センター長に就任致しました吾妻勝浩（あつまかつひろ）です。前職のコンサル会社では大手メーカー等が保有する開放特許を活用した中小企業の新事業創生や産学官金連携による地域活性化に関連した事業を推進してきました。また、地域経産局と連携し金融機関の皆様を事業プロデューサーに変える事業もハンズオンで行って来ました。これまでの経験と山梨大学のユニークな研究や知的財産を活かし、県内企業様のご支援ができればと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

イノベーション創出強化本部副本部長、主任コーディネータ 内藤 久俊

山梨中央銀行から派遣され地域連携コーディネータとして約4年間学内に常駐し企業と大学の橋渡し役として活動させて頂きました。皆様には新技術情報クラブ交流会などを通じて交流させて頂き有難うございました。皆様のご支援を頂く中、お蔭さまで様々な連携強化策などにより技術相談数や共同研究契約件数も飛躍させることが出来ました。また取組んできた共同研究案件は地域企業が中心で、観光、食品、機械、コンピュータ、医療等、幅広い分野に亘り、企業の問題解決や新製品に繋がった案件もあり、その後も継続的に共同研究に発展している企業も多数あります。これらは大学と金融機関の「学金連携」により企業へのマッチング活動が有効に機能し、地域の産学連携企業の裾野拡大に繋がり、今後も地域企業の発展に貢献出来るものと考えております。今回私は引き続き産学連携に関する仕事のご縁を頂き、大学の職員として大学や地域の発展のために微力ながら関わらせて頂くこととなりました。今後とも宜しくお願い致します。

地域連携コーディネータ 内藤 富美晴

7月1日に内藤久俊氏の後任として、山梨中央銀行から派遣され、地域連携コーディネータとして、研究推進・社会連携機構 社会連携・知財管理センターに着任しました内藤富美晴です。本年6月まで山梨中央銀行のグループ会社である山梨中銀経営コンサルティング株式会社に勤務しておりました。現状は、新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せないなか、地方経済はたいへん厳しい状況に置かれていますが、これを機に経済や社会が今後大きく変わるのではないかととも言われており、より一層の大学研究シーズと地域社会のニーズの融合が今後のイノベーションに繋がるものと期待しております。これから、大学や会員のみならずとの活動を通じて、微力ながら少しでもお役に立てるよう頑張っまいますので、どうぞよろしくお願い致します。

産学連携コーディネータ 石田 直樹

この度、私事ではありますが、7月末をもちまして山梨大学を退職することとなりました。1年10か月と短い間ではありますが、クラブ会員の皆様に可愛がっていただきまして、ありがとうございます。この場をお借りしまして心より御礼申し上げます。産学連携コーディネータという立場から、金融機関、企業および研究者を俯瞰的に見ながら、どのように絆を作り上げていくかをいろいろな切り口で検討していく試行錯誤は、このような立場でなければできない貴重な経験をさせていただきました。議論を深め行動に結びつけることの難しさやいろいろな立場の方との話し合いは次の仕事にも大いに役立つことと思っております。今後は山梨を離れ、名古屋大学で大学研究者の装置開発支援業務を行うことになりましたが、クラブでの活動等で得られた経験を活かしていく所存です。ご縁がありましたら、また一緒にお仕事できることを期待しております。ほんとうにありがとうございました。



【発行 2020年8月3日】

国立大学法人 山梨大学

研究推進・社会連携機構

新技術情報クラブ事務局

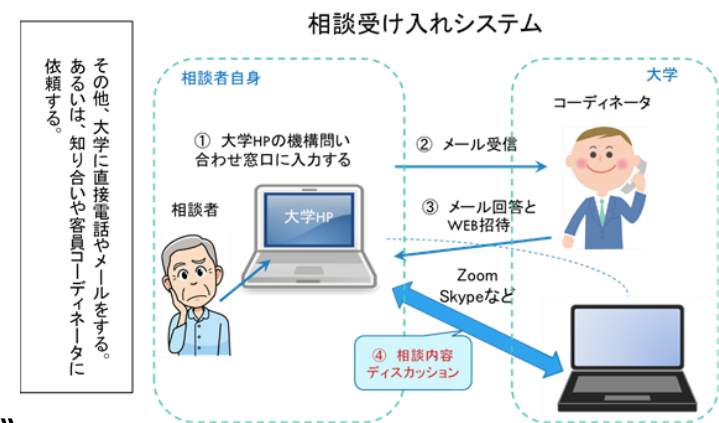
〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 TEL：055-220-8758 FAX：055-220-8757

E-mail：renkei-as@yamanashi.ac.jp URL：http://www.scrs.yamanashi.ac.jp/

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている事業者への支援開始

《インターネットを活用した技術相談》

新型コロナウイルス感染拡大により、相談者様への新たなご相談方法を開始しました。WEBを使った遠隔対面相談や会議などで、企業の皆さまが抱える課題・問題をこれまでと変わらず、大学がサポートします。相談はパソコンやスマートフォンを活用することによって、いつでも、どこからでも簡単にご相談いただけます。ぜひお気軽にご利用ください。



《サポート型共同研究（研究費の一部支援）》

新型コロナウイルス禍などの影響から、企業としての課題は抱えているものの共同研究をためらっている企業様に、大学が研究費用の一部を支援し、企業様の課題解決や研究成果の展開を図るために、新たな共同研究支援の取り組みを始めました。下記の3フェーズに展開し、市場投入まで支援可能としております。（制度内容）
イ) 研究探索型：シーズを試す、ニーズの解決仕掛かり、などの初期フェーズ
ロ) 研究加速型：初期確認ができたが、さらに詰めていくフェーズ
ハ) 実装加速型：見通しができて、市場投入などの支援がほしいフェーズ
このように、共同研究の深化に合わせて使い分けます。

	タイプ	企業様ご負担額	大学からの支援額
イ	研究探索型	直接経費 50万円	50万円
ロ	研究加速型	直接経費 200万円以上	100万円
ハ	実装加速型	直接経費 500万円	200万円

通常の共同研究



サポート型共同研究



※直接経費に加え、間接経費及び戦略的産学連携費のご負担をお願いいたします。
直接経費：研究に直接必要となる物件費、謝金、旅費などの経費
間接経費(直接経費の20%)：光熱水費等、研究実施に伴う大学の管理に必要な経費
戦略的産学連携費(直接経費の10%)：産学連携の強化及び促進のために必要となる経費
※契約未締結のものに限りです（すでに締結しているものの変更はできません）。
※令和2年度の募集は9月末までとなります。状況に応じ早期終了する場合もございます。
（例）研究探索型の場合

例えば、共同研究を開始する軒費用が120万円必要なところ、企業様で全額ご負担が難しいという事で断念するような機会損失を救済するために、大学が一部負担50万円を支援して、研究を推進しようとするものです。

この事業は、山梨中央銀行をはじめとする金融機関や諸団体の客員社会連携コーディネータとも協同して支援活動を進めてまいります。

新 | 技 | 術 | 情 | 報 | ク | ラ | ブ

今後のイベント情報

イノベーション・ジャパン2020～大学見本市Online に出展

国内最大規模の産学マッチングイベントである「イノベーション・ジャパン2020」が今年は9月28日(月)～11月30日(金)まで「イノベーション・ジャパン～大学見本市Online」として、WEB開催されます。

今年度は、本学からは以下の11名の出展が予定されております。

- ・工学部 浮田芳昭助教授「ワンステップ血液前処理技術」
- ・工学部 茅 暁陽教授 「色覚障がい保障のための画像変換技術」
- ・工学部 西崎博光准教授「信号を分析・分類するための深層学習技術」
- ・工学部 北村敏也准教授「マルチコプター型ドローンによる音の測定技術」
- ・工学部 鈴木章泰研究員「炭酸ガスレーザー超音速延伸法で作製したナノファイバー」
- ・工学部 矢崎晃平助教 「ポリマー配位子を利用した多孔質材料『MOF』のフィルム化」
- ・工学部 野田善之教授 「硬組織への切削術を仮想化する手術トレーニングシミュレータ」
- ・医学部 舟山慧医員 「PECO：腹部MRI検査のパラダイムシフト」
- ・生命環境学部 片岡良太助教 「大麦ぬかりサイクルー植物生育促進微生物の培養と利用ー
- ・生命環境学部 新森英之准教授「微粒子界面で発光ラベル化されたシリカコート金ナノロッドの構築」
- ・燃料電池ナノ材料研究センター 柿沼克良特任教授
「持続可能社会の創成に寄与する革新的燃料電・水電解触媒の開発」

オンライン開催のため、通常より長期間に渡り開催され、会場へ赴くことなくご覧いただけます。

ぜひ、この機会に日本全国の大学等から創出された研究成果を社会へ還元し、技術移転を促進してください。



第10回おおた研究・開発フェア ONLINE に出展



例年イノベーションや新事業創出を目指す企業等が多数来場する「おおた研究・開発フェア」は、開発した技術の用途開発や共同研究先を探す「出展者」と技術革新を目指す「来場者」との出会いの場です。先端技術のシーズとニーズが終結します。

第10回目の今年度は「おおた研究・開発フェア ONLINE」としてWEB開催され、山梨大学も初出展いたします。

会期：2020年10月22日(木)～23日(金)

会場：特設ウェブサイト

「産学連携」「産産連携」「新事業展開」「技術革新」に向けて、お気軽にウェブサイトへご来場ください。

燃料電池ナノ材料研究センター見学会について

水素・燃料電池産業を普及させるために、参入を検討していただける企業様からの見学を随時受け付けております。

クラブ会員様はもちろん、会員様以外でも構いませんので、お知り合いに見学を希望される企業様や、参入情報を企業に提供していただける金融機関等がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。ご連絡いただきましたら、個別に対応させていただきます。

新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にはありますが、明日へ繋がる何かを見つけるお手伝いをさせていただければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

山梨大学特許最新情報

山梨大学が出願した最新特許情報につきましては、非公開の情報も含まれますので

会員 以外には公開しておりません。

新 | 技 | 術 | 情 | 報 | ク | ラ | ブ

コーディネータ による【研究者紹介】

環境科学科 片岡 良太 助教

今回は生命環境学域環境科学系（環境科学科）の片岡良太助教をご紹介します。

内容としましては、主に

1. 環境汚染物質を植物と微生物を用いて浄化する研究、
2. 微生物の植物生育促進や土壌の質の向上に関する研究、
3. 生ごみの肥料化に関する研究

に取り組んでいます。

1は汚染物質となる旧型農薬に微生物を用いて探索する研究や塩の浄化の研究に取り組んでいます。

また、2ですが、今の農業は化学肥料や過度の有機物を使用しており、何らかの環境負荷をかけています。そこで有用微生物などを使い植物の生育を促進をすることで、作物の収量は変えずに環境負荷の少ない農業の実現を目指しています。

3については、県内某市と共同研究等により、生ごみにマルチな機能を持たせた付加価値の高い肥料の研究に繋がっています。

現在も、生ごみ液肥を施用することで、土壌の質の向上にどうつながるかを研究しています。

生ごみ液肥の研究に加え、地域特産品のあけぼの大豆の栽培土壌の研究など、産学連携にも精力的に取り組んでいます。また今後も土壌の質の向上のため、土壌中の微生物性診断についての研究にも積極的に取り組んでいくとのことお話を。

以上、会員の皆様、ご紹介しましたような「農業と環境」に関する課題等のご相談などございましたら、お気軽にご相談くださいとのことです。



片岡 良太 助教（研究室にて）

助成金等公募情報

公益財団法人山梨中銀地方創生基金【U・I・Jターンする個人に対する助成事業】

山梨県内の地域社会繁栄又は地域経済活性化に寄与することを目的として、山梨県内に就職、居住する個人（予定者を含む）に対して、就職や転居に係る費用等を助成します。

助成対象者：2020年5月1日から2021年4月30日までの間に、U・I・Jターンにより山梨県内の企業へ新たに就職（正規雇用に限る）し、かつ、山梨県内に居住する個人（予定者を含む）

助 成 金 額：1人あたり20万円

応 募 期 間：2020/5/7～2020/11/30

詳細は<https://www.yamanashi-chihousei.or.jp/furtherance/>をご覧ください。

公益財団法人山梨中銀地方創生基金【技術向上に取り組む個人等に対する助成事業】

山梨県内の地域社会繁栄または地域経済活性化への寄与を目的として、高度な技能・技術・知識向上のための費用を助成します。

助成対象者：山梨県に居住し高度な技能・技術・知識向上に積極的に取り組み、将来、山梨県内においてこれらの成果を活用しようとする個人

助 成 金 額：1人あたり50万円以内

応 募 期 間：2020/5/7～2020/11/30

詳細は<https://www.yamanashi-chihousei.or.jp/furtherance/>をご覧ください。